

## 山口県介護支援専門員協会 第2回常任理事会 概要

開催日 平成27年6月29日(月) 午後4時から午後6時まで  
会場 山口県セミナーパーク リハビリテーション実習室  
参加者 佐々木会長、堀田理事(広報事業部)、木村理事(公益事業部)  
二井理事(調査研究部)、岩神理事(生涯研修部)  
事務局 山口県社協 福祉研修センター  
主幹 熊谷聖、囑託 福本かおる

### 1 報告事項

#### (1) 日本協会社員総会概要について(※別添資料参照)

6月21日に開催された社員総会に中国ブロック理事として橘副会長、代議員として佐々木会長、二井理事、堀田理事が出席した。午前中は次第に沿って報告事項、議案の報告が行われた。午後より役員改選のため、会長候補者理事選挙、全国選出理事選挙が行われた。選挙の結果鷺見会長が引き続き会長に就任され、全国選出理事は11名の立候補があり、10名の当選で、1名補欠を置く結果となった。(平成27年度役員体制については資料参照。)

引き続き中国ブロック理事に橘副会長が就任された。日本協会の動向については役員と連携し、意見を伝えていく。社員総会の詳細については理事会で提示する。

### 2 協議事項

#### (1) 各部会の活動報告

##### ○広報事業部

協会だより1号を8月中旬発行、発送の予定とし、各担当に記事の依頼をしている。7月末までに編集を行う。内容については資料参照。

現在、HPの会員専用ページが廃止になったため、今年度中にスマートフォンアプリを作成、運用し、会員メリットとなるよう情報発信を行う。HPとアプリの内容の差別化を行う。退会者の管理について検討が必要のため、佐々木会長、横山理事、渡邊理事の3名と、アプリ開発担当で打ち合わせを行う。

第1回交流会として、9月26日(土)に秋吉台家族旅行村での登山、BBQを開催予定。

##### ○公益事業部

災害机上訓練が各地域で実施できるよう、伝達研修会を行ったが、まだ講師養成までに至っていない。周防大島で災害机上訓練を開催するため、松井氏に講師依頼をしている。講師の負担となるため、日本協会でも災害机上訓練の実施があれば参加していきたい。今後、当会の課題として、前公益事業部

員が災害机上訓練を各地域で実施した際に、ファシリテータの役割を担っているので、講師の打診をする。山口県内で起こりうる、台風、水害、地震等の災害について、個人、県、地域ベースでの役割分担、担当内容について、山口県版のマニュアルを作成し、各地域へ提示できるよう検討する。

「県協会からのお願い」アンケートについて、質問内容を精査したので、協会主催の研修、広報誌発送の際に配布する。

社会資源情報の整理について各地域へ依頼し情報の収集を行う。理事会で周知を行う。

#### ○生涯研修部

7月までの研修については概ね定員を超えている。制度改正研修について北部会場の人数が今後増えない場合、中央、西部に移っていただくようお願いする。

看取りの研修、うつ病、医療ニーズ研修について8月の広報誌にあわせて開催要項の発送を行う。

収支状況を踏まえ、年1回梅田先生のSV研修を実施の方向で検討する。

#### ○調査研究部

調査研究部で作成した成果物の内容について精査をし、日本協会へ確認をお願いする。会長より鷺見会長へ確認する。

#### ○組織総務部

ケアマネジメント研究大会について、概ねプログラム、講師は確定している。研究発表について山口県立大学大学院（宇部市包括）の方と、福岡県から各1題発表をいただく。

日本ケアマネジメント学会理事長白澤先生に基調講演、研究発表の助言を依頼。公開地域ケア会議について、塩見理事にシナリオ作成を依頼し、1時間枠で模擬会議を行い、進め方等についてイメージが付きやすいものとなっている。

お楽しみ抽選会に向けて、10月4日に開催される美祢市福祉の市に参加する。9月よりHPで全員参加型の抽選会の募集をかける。

昼食時間を1時間30分とっているので、閉会時間を早める等、時間調整を行う。

### (2) 法人化に向けた活動について

7月1日に法人会委員会第1回を佐々木会長、橘副会長、服部氏で開催する。

事務局委託について、山口県社会福祉事業団の大窪理事長との協議を行い、社会福祉会館4階の1室があいているため、そこを借りることを提案いただいた。県に打診したセミナーパーク、保健会館を借りるのは難しいとの回答のため、社会福祉会館に事務局を置くことを理事会で諮る。

法定研修委託について県、社協との協議を行った。県としては28年度よ

り実務研修を当会を指定機関としたいとの意向があったが、県社協としてはセットで様々な研修を受けているため上層部との協議が必要との意見であった。県が最終判断をすることとなるが、法定研修を受けないと会の運営は厳しいため、法定研修を受けるためにプレゼンを求められる可能性もある。生涯研修部とは別に、法定研修部会を立ち上げることを検討していく。

(3) 山口県ケアマネジメント研究大会について  
(組織総務部会報告と同内容)

(4) その他

介護保険研究大会における研究発表について、隔年で発表しているため、調査研究部で検討する。